

社会福祉法人 虹の会 広報誌

第72号 虹をこえて

2022年10月発行

地域防災対策を考える会 合同避難訓練に向けて



昨年度の訓練のパネル作成

近年とくに各地で大規模な災害があり、我が街も避難を要するような災害が起こりうる可能性があり、非常に危機意識が高まっている。当法人では、車イス・アイマスクを使った体験学習「電車でGO」や災害時の避難経路の確認や危険箇所のチェック等「我が街知っとこ隊」で実際に訓練を行い体験してきた。昨年十一月地元川尻自治会の皆様や地元消防団、青年（大学生）、民生児童委員の方々と合同避難訓練を実施することができた。

今年九月、（仮称）地域防災対策を考える会で第一回目の打ち合わせ会議・意見交換会を開催した。十一月二十三日に大規模水災害を想定した全住民を対象（特に高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦）とした合同避難訓練を実施することが決まった。参加団体は、高西町（川尻自治会、ひまわり自治会）、社会福祉法人虹の会、平和子供会、協力団体として福山大学経済学部経済学科 中村和裕ゼミ、福山市消防団高西分団、民生児童委員となつています。避難訓練後、問題課題を明らかにし次回研修会につなげます。

柔道療法と出会って



イベントの様子

日頃よりお世話になっております福山大学の中村先生が取り組んでいる『柔道療法』との出会いを紹介します。昨年十一月には、今年開催の二〇二二年 第八回スペシャルオリンピック日本夏季ナショナルゲーム・広島のアリーナふくやまをエフピコアリーナふくやまで開催するにあたり協力団体として虹の会も音響や会場設備で参加した。また、今年の七月には『みんなで柔道を楽しむ大会』にも参加しました。

柔道というスポーツを通じて競技だけでなく挨拶や礼儀を学ぶ場面、乱取りを通じたコミュニケーション等、貴重な体験をさせていただきました。この活動が当法人のスポーツクラブでも活動できたらと思っています。二〇二二年十一月開催のスペシャルオリンピックスナショナル大会の柔道会場の進行係・音響係などスタッフとして虹の会もお手伝いさせていただきます。この貴重な体験をまたみなさんにお伝えできたらと思っております。



イベントの様子

『いつか笑い話で言える時がくる』
人は一生のうちに幾度となく色々な体験をする。その度に人として成長していけるのではないかと考える。特に生命に危機を感じるような重い病気等で怖さや、苦しみ、痛さや悲しみなど不安になることを誰しもが経験や体験する。
私は二十代の頃、約一年間の闘病生活の経験がある。その時に思ったこと、気づいたことがある。それはどんなに深く大きな苦しみや、痛さや怖さであっても、自分の思いや、努力によっていつかきつと笑い話で言える時が来ると信じ、その時がきたら、あんなことをしてみたい、こんな所へも行ってみよう、その時の状況を繰り返し、繰り返し思い浮かべてみると、気が楽になり楽しみに変わってくる。それが本当に実現することが多くあるのである。私も何度か経験したことがある。ある著書（PHP）に「病は味わうものである」と書かれていたことを思い浮かべた。私なりに気づいたこと、それは病気等での痛み、怖さ苦しみや悲しみ、その体験や経験こそが人の苦しみや悲しみに気づいてあげることができ、手助



紅さして

誰を待つのか

田舎人 博山

けをすることができるとは、ないか、多くの人たちの役立ちつことになる素晴らしいことと思う。私は今、コロナ感染症で大変厳しい時にこのことが思い出された。
二〇二三年九月
田舎人 博山
理事長・藤原博文は、子供の頃から博さん、博ちゃんと呼ばれていた。そこで田舎者の博さんとの思いで
田舎人 博山と名付けた。

HALLOWEEN

《行事予定》

- ★広島ドラゴンフライズ 福山会場（出店）
10/26(水)・11/26(土)・11/27(日)
- ★福山平成大学 御幸祭（出店） 10/29(土)
- ★ハロウィンスポーツデー
（エフピコアリーナふくやま）（出店・出演） 10/30(日)
- ★ジョイジョイワーク加茂（展示・販売会）
11/19(土)～11/23(水) AM10:00～
場所 HOLME230
〔住所 / 福山市駅家町坊寺 230〕
- ★地域防災対策を考える会 合同避難訓練
11/23(水) 9:00～
-主催- 地域防災対策を考える会
合同避難訓練実行委員会

バンドしませんか♪

虹の会には、バンド部があります♪
バンドがしたい、練習したくてもなかなか出来ないと思っている方、ぜひ、一緒にバンドをしませんか。利用者さん職員さんになってくださる方、大歓迎！メールください
jinchiku@nizinokai.or.jp



明日の日が待ち遠しい一日を創造する

社会福祉法人 虹の会
<http://nizinokai.or.jp>

◆法人事務局

〒729-0106 広島県福山市高西町4丁目3-69
TEL: (084) 933-0927 FAX: (084) 933-0985

◆各事業所（障がい福祉及び介護保険）

- ジョイジョイワークたかにし（生活介護）
- ジョイジョイワーク加茂（生活介護）
- ジョイジョイワークはあとふる（特定相談）
- ジョイジョイワークすばる（生活介護・通所介護）
- ジョイジョイワークあすか（GH/短期入所）
- ジョイジョイワークなないろ（GH）



展示・販売レザークラフト「新作・リメイク作品づくり」(ジョイジョイワーク加茂)

新型コロナウイルスも減少に向いている様に見えますが、まだまだ、予断を許さない日々が続いています。加茂は重い障がい者の方が多いため、みんながウイルスを呼ばない、もらわないと心を一つにして活動をしています。限られた制限の中大好きな外出がなかなか出来ません。そこで、開所から行っている自主製品レザークラフト製品の作成を行いました。原点に戻り製品の見直しを行いリメイクや新作に挑戦しています。また、布を使って来年度の干支つくりにも力を入れていきます。どんな感じの兎になるか楽しみにしています。また、加茂の活動等を皆様に知って頂くために、



創作活動 ちぎり絵



十一月十九日(土)から二三日(水)まで、「HOLME30 駅家町坊寺230」のフリースペースをお借りして、展示販売を行う事にしました。販売一部の収益で大好きな外出が出来ますようにと、皆で知恵を出しながら日々作成に頑張っています。利用者さんからは、「美味しい物いっぱい食べたい」「洋服を買いおしやれしたい」その声に便乗した職員からは、「年齢より若くおしやれしたい」など、ユニークな発想で施設内は、笑い声いっぱいジョイジョイワーク加茂でした。



カランコロンせんべい 新商品発売に向けて(ジョイジョイワークすばる/カランコロン堂)



看板設置



れもん三昧



せんべい製作中



せんべい焼き機

新商品『れもん三昧』 広島県内産のれもんを使用。

11月発売開始!

- れもん…風味が豊かですっきり爽やかな味。
- さられもん…「ざらめ」をトッピング。程よい酸味に甘味がマッチ。
- レモンティー…甘酸っぱい芳醇なレモンティー味。

¥1,050(単品で買うと合計 ¥1,120の商品です)

※予約受付中! 同封のハガキにてご注文下さい。

電話やFAXでも受け付けます。



せんべい焼き機も3台フル稼働で作っています。一緒に作る仲間(利用者さん)を募集しています。ぜひ、施設見学にお越しください。心よりお待ちしております。お問い合わせジョイジョイワークすばる/カランコロン堂(084)939-5361



新型コロナウイルス(反省と課題)

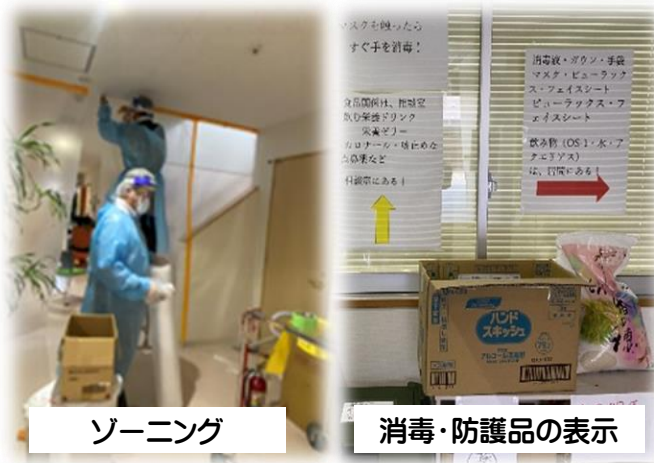


この度、利用者、職員がコロナ陽性となり、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。このことを踏まえ反省と今後の課題をまとめてご報告させて頂きたいと思っています。

まず、コロナの陽性者が出た時にすぐ分離してとにかく一階と二階に分けた。しかし、それだけでなく職員がほとんど陽性となり休んでいく中、分離すること二倍の職員配置が必要となった。陽性者の支援する職員を固定することも考えたがそうになると一人に負担と不安がかかり過ぎるので職員みんな協力し合い、特に夜勤も二人体制にして手厚くした。休憩場所もレールに合わせて三段階にして、

最も陽性者と関わるスタッフから陰性者の支援のみを行うスタッフとその中間を設けて職員が防護服を脱いでこまめに休めるようにした。そうすることで二人体制や複数体制で素早く必要な支援が出来た。陽性者が出て分離してからは新たな陽性者が出ることはなくかなり早く通常に戻る事が出来た。この取組はとても良かったと思う。そしてスタッフが一つの目標に向かい助け合ったことが利用者さんへの出来る限りの手厚い支援に繋がったと思う。入浴も早くから開始することで皮膚疾患の予防や、辛い中でのリフレッシュへの支援にもなった。職員には、スポーツドリンク、栄養ドリンクや飲むゼリー、おやつ、カップラーメンなどを準備して声を掛け合った。もちろん利用者さんにも提供した。こういう時に垣間見える笑顔が私にとっても支えとなった。このことから、①初動で大事なものは、陽性の疑いがある人(発熱、倦怠感、悪寒や抗原検査で陽性となった等)との分離、そして接触者全員の抗原検査、迅速な通院検査。法人内の利用者、職員分の抗原検査キットは、事前に備えていた。②情報は一度に詰め込まず必要なことだけ伝える。電話の子機や携帯電話、トランシーバーを使い、通信機は使い回しをしない方が感染リスクを避けられる。そして一時的に共有ラインを開設し迅速に情報共有出来た。③食器は全て使い捨てにすることで衛生管理が出来、職員の手間を省くことが出来た。④ゴミステ

ーションは別に設け、ごみの分別や作業を分けることで感染リスクを下げた。⑤コロナ陽性に関する体調の変化を発熱だけにとらわれずはいけない。⑥重症化に対応するためのパルスオキシメーターや携帯酸素の備蓄、高濃度消毒液、N95マスク、ガウン、フェイスガードなど陽性者への支援や職員、利用者の家族に感染させない為に貸し出せるよう感染防護セットを準備しておく。など多くの学びがあった。陽性者になって辛かったことや大変だったことも痛感し、実体験を得ることで言葉や行動で表現や訴えが困難な利用者さんの介護や対応をどうすれば、少しでも楽に、また安心につながるかを考えて行動に移すことが出来た。日々の取組やマニュアル化、計画は、必要不可欠ではあるが取組時に、行動分析や理由を考へて行動することが重要だと考える。例)なぜ手を洗うのか?→清潔にする為↓感染を防ぐ為(例)なぜ消毒をするのか?→ウイルスを死滅させる為↓ウイルスを死滅させる為には、エタノール70%以上のアルコールや次亜塩素の消毒液で消毒を行う↓コロナ感染を防ぐ為。このように行動分析や理由を考へて行動するということは、目的意識を職員全体で共有することになりコロナ感染予防には、肝要である。最後に、情報を発信する



ゾーニング

消毒・防護品の表示

時は、誰にでも分かりやすく伝えることが出来なければ意味がない。そこで私たちは消毒方法、感染防護用具着脱方法など絶対に伝えたいことを職員がモデルとなって動画を撮影し、それを配信した。どうすれば大事なことが伝わるのか試行錯誤したことも学びとなった。それから、日々のスタッフ配置を行う時、感染リスクが高い業務へ就いても変わらないといけない時にとっても複雑な思いであった。それでも職員は不安を抑えて果敢に支援にあたってくれた。本当に嬉しく有難かった。心から感謝している。

